



新聞記事を活用した「ニュースレポート」を手にする生徒。左は会田靖幸教諭

東根市・東桜学館

東桜学館(東根)の高校生 — ニュースレポートに挑戦

東根市の中高一貫校・東桜学館(官宏校長)の高校3年生は1学期、学校設定科目「公民探究」の時間を活用し、自身が注目する新聞記事をクラスメートに紹介する「ニュースレポート」に取り組んだ。インターネットなどさまざまな情報の入手手段がある中、時事問題への関心をどう高め、正確に把握するか。信頼できる情報が詰まった新聞に着目した。

注目した記事、理由添え紹介

時事への関心高める

ことで国内外で何が起きているかを把握できた。一方、現在はスマートフォンなどさまざまな媒体からニュースを得られるものの、自らアクセスしなければ入手できなくなった。「情報があふれている時代なのに、昔よりも今の子ども

担当したのは会田靖幸教諭(53) た7月の参院選など、生徒たちは「政治経済。当番制で実施し、該 意欲的に取り組んで時事問題の理解を深めた。卵野佑哉さん(18)は、ネット上のニュースは不確かな内容も散見されるが、新聞ならば各社が責任を持って掲載しているため信頼性が高い。さらに紙媒体であれば、複数ページにまたがる場合もある関連記事にくまなく目を通せる利点がある。取り組みは1学期で終わったが、個人的に継続している生徒も。佐藤静香さん(18)は「意見を書くためには、いつも以上に新聞に目を通す必要がある」と話している。

「7月の参院選など、生徒たちは意欲的に取り組んで時事問題の理解を深めた。卵野佑哉さん(18)は、ネット上のニュースは不確かな内容も散見されるが、新聞ならば各社が責任を持って掲載しているため信頼性が高い。さらに紙媒体であれば、複数ページにまたがる場合もある関連記事にくまなく目を通せる利点がある。取り組みは1学期で終わったが、個人的に継続している生徒も。佐藤静香さん(18)は「意見を書くためには、いつも以上に新聞に目を通す必要がある」と話している。

「7月の参院選など、生徒たちは意欲的に取り組んで時事問題の理解を深めた。卵野佑哉さん(18)は、ネット上のニュースは不確かな内容も散見されるが、新聞ならば各社が責任を持って掲載しているため信頼性が高い。さらに紙媒体であれば、複数ページにまたがる場合もある関連記事にくまなく目を通せる利点がある。取り組みは1学期で終わったが、個人的に継続している生徒も。佐藤静香さん(18)は「意見を書くためには、いつも以上に新聞に目を通す必要がある」と話している。

「7月の参院選など、生徒たちは意欲的に取り組んで時事問題の理解を深めた。卵野佑哉さん(18)は、ネット上のニュースは不確かな内容も散見されるが、新聞ならば各社が責任を持って掲載しているため信頼性が高い。さらに紙媒体であれば、複数ページにまたがる場合もある関連記事にくまなく目を通せる利点がある。取り組みは1学期で終わったが、個人的に継続している生徒も。佐藤静香さん(18)は「意見を書くためには、いつも以上に新聞に目を通す必要がある」と話している。

選挙権年齢を「18歳以上」に引き下げる改正公選法が初適用されたが、家族で共有し、話題にする